



『社会福祉の動向 & 地域福祉をどう進めるか』

＝ソーシャルワークの役割を問う＝

2010年10月24日（日）

開催目的

「重い行動障害があっても生まれ育った地域で、本人が望む場所で暮らさせたい」と願う両親が、入所施設から退所し彼自身の住まいを建て暮らし始めました。しかしながら現状の障害福祉の供給量や行動障害をもつ自閉症者を支援できる事業所数の少なさから、親や兄弟がヘルプしなければ居宅生活を続けることができない現実があります。地域で暮らし始め、なお増え続ける破壊や自傷・・・やはり息子は入所施設にいた方が幸せだったのでは・・・と揺れ動く親の葛藤が続きます。

多くの行動を制限される、重い障害を持った人たちが、地域の中で暮らすということの意味は？価値は？どこにあるのでしょうか。

地域生活を望む障害者を私たち市民はどのような形で理解し支援すべきかを考え語り合える、そして日本の福祉はこれで良いのかと問い続ける第4回ソーシャルワークセミナーを開催します。

開催日時 2010年10月24日（日）10:30~16:00

主催 青森県ソーシャルワーカー協会

NPO法人 日本ソーシャルワーカー協会（市民活動支援委員会）

後援 NPO法人 あおもりNPOサポートセンター

対象者 社会福祉実践者、社会福祉領域における学識経験者・教育者

社会福祉に関心をお持ちの市民の方々

定員 100名程度

参加費 500円

会場 八戸市総合福祉会館 第1, 2教室

八戸市根城8丁目8-155・0178-47-1651

交流会 前日の夜（23日）に、SW協会鈴木会長を囲んでの交流会を計画しています。

参加希望者はお申し込みください。交流会場は未定です。

会 費
昼 食
申し込み

3,500円

各自ご準備いただくか、近隣食堂をご利用ください。

参加を希望される方は、1名ごとに参加申込書にご記入の上、10月15日（金）までに別紙申込書に必要事項をご記入の上事務局までメールまたは FAX でお申し込みください。

申 込 先 社会福祉法人抱民舎事務局内 ・ email aun@houminsya.com

(問合せ先) FAX 0172-82-6061 電話 0172-82-6060

プ ロ グ ラ ム

区 分	時 間	概 要
受 付	10:00~10:30	参加費徴収・資料配布
開 会 あいさつ	10:30~10:40	NPO 法人 日本ソーシャルワーカー協会 市民活動支援委員会 委員長 青森県ソーシャルワーカー協会 会 長 田中 弘子
講 演	10:40~12:00	NPO 法人 日本ソーシャルワーカー協会 会 長 鈴木 五郎さん ◎演 題「日本の社会福祉はこれでよいのか」
昼 食 休 憩	12:00~13:00	
シンポジウム	13:00~16:00	◎テーマ 「発達障害者（自閉症者）の地域生活に、今どのような支援が求められているのか」 ★ コーディネーター 八戸市・のぞみ園 施 設 長・生活支援ネットワークライフ事務局 上條 勝芳さん ★ シンポジスト1 八戸市自閉症児者親の会 副 会 長 木村 ひとみ さん ★ シンポジスト2 三戸郡南部町 清岳園そら 施 設 長・青森県ケアマネ研究会 事務局 古川 善朗さん ★ シンポジスト3 弘前市 社会福祉法人 抱民舎 次 長・相談支援専門員 白取 新一さん

鏡は不要です。本表をそのままご返信ください。

ふりがな		申し込み年月日： 2010年 月 日
お名前		申し込み締め切り 10月15日(金)
所属		
職名		
連絡先	ご自宅	
	住所：〒 —	
	TEL ()	FAX ()
	Email @	
	勤務先	
	住所：〒 —	
	TEL ()	FAX ()
	Email @	
交流会の参加	・参加します ・参加しません※いずれかに○をつけてください。	
メッセージ欄		
講師並びにシンポジスト等への質問欄		

皆様よりいただいた個人情報は事務局が責任を持って管理し、本セミナー以外に使用致しません。

セミナー会場「八戸市総合福祉会館」略図

八戸市根城8丁目8-155・TEL 0178-47-1651

